

先日受講した、障がい者虐待防止研修の講師・野澤和弘さんのお話に、新鮮な驚きがありました。2時間の講義の中でいくつも発見がありましたが、私がとりわけ感動を覚えたのが以下の言葉でした。『虐待をしないだけでなく、良い支援をしていく。良い支援をしていだけじゃなく、障がいのある人と一緒に街へ出て行く。街へ出て行くだけでなく、社会を変えていく。そしてその社会の文化が変わっていく』

ひきこもりの問題にも関わられている野澤さん。繊細な感性をもつ人たちがほど‘生きにくい’要因が、ひきこもり当事者にあるのではなく、今の社会の方にあるのだと仰っていました。障がいのある人と支援者が街へ出ること。そして『誰もが尊重され生き生きとできる社会』を目指すこと。それは、生きにくい人たちを救うことにもなるし、それがみんなにとっての‘生きやすい社会’につながるのだと話されました。私はこれまで、地域・街の中へ行くことが‘障がいのある人にとって’必要なのだと思っていました。野澤さんの‘地域・社会にとって’こそそれが必要なんだ、という発想に目から鱗が落ちる想いでした。お聴きできて良かった…と沁みる様に思う研修でした。 (堀江)

すまいる班

寿台養護学校の1年生が、
すまいるに実習してきました。お昼の
カレーライスと一緒に食べたり、紙おき
作業と一緒に取り組めました。
物資の準備も終わって、感覚の
時間に、静かな音楽を聞きながら
手拍子、足踏をしてゆったりとした
時間を過ごしました。

こもれび班

さあ、今年も残りの3ヶ月
「クリスマスにケーキ食べるよ、もう
東更んによ」「3日は糸玉白貝よ」
あてにそんな言葉が聞こえてくる
こもれびまつりで☆
それもそのはず、小豆祭りクリスマス会
に向けてクッキー作りを準備中
出し物も考えたりワクワクドキドキ
がたまっていますよ
寒さか本格的白濁に替えて by 三木
いきまわりの、12月を彩る行事イベント
かいびとホカホカ照らしてくれます。

ねくすと



としづく絵

12月になりましたね。今週はなかががリワソワ。^{その理由は}
インフルエンザの予防接種があったからですね。ドキドキし
ながらも、みんな小慣れた様子で落ちついて受けることができました。
終わって、ホッとしたなかも職員もたくさんいました。
物資もがんばって届けています。
そして12月といえば、忘年会とクリスマス会。計画を考えていると3回、
またまた、なかがリワソワです。